

江差町立南が丘小学校



かけはし

【本年度の重点教育目標】

『豊かな心の育成 礼儀正しさ・思いやり・粘り強さ』

TEL0139-52-0524 FAX0139-52-5489

にじの かけはし

南が丘小学校長 佐藤 健

江差人1年生の私ですが、地域を知る中で心惹かれたことがあります。それは「江差の祭りで笛や太鼓を学ぶとき、高校生から中学生、中学生から小学生と、年長の子が年少の子に教え、伝統が引き継がれている」というお話です。町の賑わい事を通し、地域の文化が受け継がれる…、これは、さながら「賑事(にじ)のかけはし」と言えるのではないのでしょうか。

江差町には『かけはしプロジェクト』という取り組みがあります。町内の教育機関や役場などが連携し、幼保、小・中学の10年間で「より良くなり、15(歳)の姿に責任を持つ」ことを目指しています。1学期にも、学校間の合同授業や指導者間での情報交流などを行い、子どもたちの成長を支える「ひとつなぎの道」となれるよう取り組んでいます。

我が子を誰よりも深く知る保護者の方に、子どもたちを広く知る学校等が「もう一つの子育ての道」として寄り添い、子育ての両輪でありたいと願っています。これは「二路(にじ)のかけはし」でしょうか。



- あ あいさつ
- い いいとこ さがそう
- う うえを むいて
- え えんやこらしよ!
- お お…(子どものアイデア)

さて、間もなく夏休みです。前回の学校だよりでは、『校長先生からの「あいうえお」』をご紹介しました(左記)。長い時間を家で過ごす夏休みの子どもたちに意識してほしいのは「い・え」です。

「い:いいとこ伸ばす夏休み」たっぷり時間がある夏休みは、「好き」に没頭して長所を伸ばすのにぴったりの期間です。ぜひ、お子さんの「いいとこ」を見つけ、気付かせてあげてください。「好きこそものの上手なれ」です。

「え:えんやこらしよ!」と努力する力も成長には必要と、子ども時代を経験した我々大人は知っています。私たちが子どもだった頃と比べてとても便利な世の中だからこそ、あえて「がんばるチャンス」をプレゼントしませんか。私たちも「不便」から多くを学んできたはずで、(逆に、動画やゲームなどの便利さ、「スクリーンタイム」の誘惑に打ち勝つ意思を育てるには、大人がかなり「がんば」らないと、流されてしまいます。)

七色の個性をもつ子どもたち。多様な個性が集い、高め合う学校を目指しています。この夏休みを通して一段と輝きを増した子どもたちが、さらに素敵な「虹のかけはし」をつくる2学期を楽しみにしております。

思い出いっぱい修学旅行！

6人の6年生が、修学旅行へ行ってきました(7/9・10)。新幹線で津軽海峡を渡り、弘前市の自主研修、青森市のねぶたの展示館などを巡りました。子どもたちの一番人気は浅虫水族館で、タッチプールやイルカショーを楽しみました。また、三内丸山遺跡では、先人達の暮らしの様子を肌で感じ、授業で学んだ知識を深めることができました。

修学旅行は、集団行動での礼儀や人間関係を学ぶ場でもあります。出発式での司会や挨拶は、とてもはきはきと、しっかりとできました。ホテルでの生活では、マナーを守り、友達と楽しく過ごせました。

暑かった2日間の行程を終え、子どもたちは疲れた様子もありましたが、全員無事に帰ってきました。保護者の皆様には、早朝からのお見送り、お迎え、日頃からの体調管理、準備などご協力ありがとうございました。



ねぶたの展示館の方に、「最近の修学旅行生の中で一番踊りがよかった」と言われ満足の子どもたち。

さまざまな交流を通して学ぶ

【シニアカレッジ(7/15)】

1・2年生の子どもたちが、地域の方と様々な活動を通して交流する「シニアカレッジ」に参加してきました。子どもたちは、地域の方に絵画や折り紙を教わり、射的などの昔の遊びに触れました。「楽しかった」と子どもたちは口々に話していました。

地域の方との交流を通して、世代を超えたつながりが生まれ、相互理解を深めることにつながればと考えています。



地域の方と絵の具で塗り絵を楽しむ子どもたち。

【トライアングルサポート小小交流(7/7)】



何ができるかな？ 自由な発想で作っていきます。

江差中学校区小学校間で行うトラサポ小小交流事業の取り組みでは、各学年が年に1度の交流の機会をもちます。左の写真は、本校3年生が江差小3年生と合同で図工の授業をしている様子です。異なる小学校の子が一緒にグループとなり、「ここにしっぽをつけよう」「こっちはどうする？」と力を合わせてダンボール工作をしました。もの作りを通して打ち解けた子どもたちは、「キリンに見えるね」などと話していました。

他校児童との交流の際には、子どもたちは人間関係づくりにおける「礼儀正しさ」や「思いやり」、学習に取り組む「粘り強さ」がふだんよりも意識されているように見えました。

安全な夏休みを

いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。

長期休みは開放的な気分になりがちですが、命に関わる悲しい事故や重大なけがを防ぐため、ご家庭での確実な見守りとご指導をお願いいたします。

最近、地域の方から「子どもの自転車、スケートボード、キックボードの乗り方が危ない」という心配の声が届きました。学校ですぐに注意を呼びかけ指導しました。ご家庭においても、自転車に乗る際は交差点での一時停止や左右の安全確認、徹底について、今一度お子様へお伝えください。

水難事故や熱中症にも注意し、安全で充実した夏休みを過ごしてほしいと願っています。2学期、子どもたち全員が笑顔で登校してくることを願っています。